

辻井 敬亘（ツジイ ヨシノブ）

Yoshinobu TSUJII

京都大学 化学研究所 教授・1960 年生
京都大学 大学院工学研究科 博士後期課程研究指導
認定退学、京都大学工学博士
繊維学会：現理事・会長、過去には理事のほか、
関西支部長、夏季セミナー実行委員長、年次大会
実行委員長などを担当

Professor, Institute for Chemical Research, Kyoto
University. Born in 1960. Degree: Dr. Eng. (Kyoto
University). President of The Society of Fiber Science
and Technology, Japan



新時代の繊維学へ ― 実行と継続による「心躍る集いの場」の実現

このたびは、次期会長候補者の一人にご推薦を賜り、大変光栄に存じます。繊維学会の将来構想を実現する重要な選択肢の一つとして、繊維系三学会合併に関して丁寧な協議を今少し継続する責務があるとの思いから、重任ながら候補者推薦をお受けいたしました。

繊維学会は、長きにわたり日本の繊維科学と技術の発展に大きく貢献してまいりました。しかしながら、研究の多様化や会員の高齢化、社会環境の変化の中、学会の在り方自体を問い直す時期を迎えています。再任の機会が得られました際には、(i)「新時代の繊維学」のための“場”の提供と(ii)サステナブルな学会運営の確立を両輪に、学会本来の使命である「知の創造」「人材育成」「社会貢献」を一層強化してまいります。

“場”とは、学術的探究と社会実装の双方を支える開かれたプラットフォームです。三大行事、学会誌／論文誌、講座／講演会、研究委員会活動等において、専門分野を深化しつつ、繊維科学の強みである多様性を活かし、関連研究者・技術者が分野と世代の壁を越えて語り合える機会を再構築します。これにより、新領域の開拓、産官学連携、さらには異分野との協働を推進し、「新時代の繊維学」が芽吹く土壌を整えます。

運営面では、DX化や職員待遇改善を含む事務局体制の強化と財務基盤の安定化、規程整備等によるガバナンス強化を推進します。これにより、会員の皆様の負担を軽減しつつ、効率的で透明性の高い学会運営を実現し、誰もが安心して参加できる学会を目指します。

最後に、繊維系三学会合併に向けた方針について申し上げます。これは、分野の融合と持続的な運営を力強く推進する大きな挑戦です。各学会の歴史と伝統に敬意を払い、また、現有リソースを有効活用しつつ、ゼロベースでの協議を重ねて実行可能性を探っていきたいと考えています。会員各位の賛同が得られましたら、新たな学会として「心躍る集いの場」を提供し、「新時代の繊維学」を推進する基盤の確立に誠心誠意努力する所存です。

【重点施策】

- ・ 横串としてグローバル課題等を題材とする産官学交流プラットフォームの構築
- ・ DX化と待遇改善による事務局の体制強化と会員運営負担の軽減
- ・ 現状の打開に加えて将来の飛躍を実現する繊維系三学会合併に向けた提案と基盤構築